



<b>事業収支計画</b>																	
<b>資金需要</b>																	
投資																	
税引後当期損失																	
借入金返済																	
配当金																	
仮払消費税																	
その他																	
<b>資金調達</b>																	
出資金																	
借入金																	
税引後当期利益																	
仮受消費税																	
その他																	
<b>資金過不足</b>																	
<b>期末累積資金残高</b>																	

<b>借入金残高</b>																	
期首残高																	
借入額																	
返済額																	
期末残高																	

<b>【資本の部】(期末残高)</b>																	
資本金																	
法定準備金																	
剰余金																	
資本の部計																	
<b>参考指標</b>																	
PIRR(税引き後)																	
配当IRR																	
DSCR																	

◆備考

- ※1: 提案内容に応じて項目を適宜追加及び削除し、可能な範囲で詳細に記載してください。
- ※2: 各年度は4月から翌年3月までとし、消費税及び物価変動を考慮しない金額を記載してください。
- ※3: 金額については、千円未満を四捨五入で、また、評価指標については、小数点第2位未満切り捨てで記載してください。
- ※4: 損益計算書の費用のうち「その他費用」に相当する費用は、可能な範囲で具体的に記述し、その内容等を別掲してください。
- ※5: 原則としてA3に記載してください。
- ※6: 現在価値の算出においては、割引率4%を用い、平成31年度を基準年とし、平成32年度の支払いから割り引いて計算してください。
- ※7: 本様式は、Microsoft Excel を使用して作成し、その情報(算定数式含む)が保存されているCD-Rを提出してください。  
なお、算定数式の提出が困難な場合は、算定方法が確認出来る資料を別途提出すること(自由様式)。

◆参考指標の算定方法

- ・PIRRの算定については、次の算式を用いること。  
PIRR(税引後): 各期における(税引後当期損益+借入金利息-投資額)の事業期間にわたる現在価値の合計額が0になる割引率を算定する。
- ・DSCRの算定については、次の算式を用いること。  
DSCR=当該年度の借入金等償還額及び支払利息控除前の純資金増加額/当該年度の借入金等償還額及び支払利息の合計額
- ・配当IRRの算定については、次の算式を用いること。  
配当IRR: 各期における(利益配当(清算配当含む)額-資本金による資金調達額)の事業期間にわたる現在価値の合計額が0になる割引率を算定する。  
※なお、株主劣後ローンによる調達等で、内容的に資本金と同等に見せるものは「資本金」に、その元利償還金等を「利益配当額」に含めて算定するものとする。